

the Pearl Flutist

ザ・パールフルーティスト

2024

フルーティストのための無料情報誌

2024年度
全日本吹奏楽コンクール課題曲特集



神田 寛明

NHK交響楽団首席奏者
桐朋学園大学教授



相澤 政宏

東京交響楽団
首席フルート奏者



磯田 純子

オオサカ・シオン・ウインド・
オーケストラ
フルート・ピッコロ奏者



井上 登紀

大阪フィルハーモニー交響楽団
フルート奏者

課題曲
フルートパート
徹底解説!!

Pearl Flute

A Tradition of Innovation

行進曲「勇気の旗を掲げて」

(第33回朝日作曲賞受賞作品)

渡口公康



解説:

神田 寛明

Hiroaki Kanda

NHK交響楽団 首席フルート奏者・桐朋学園大学教授

音楽作品には演奏される目的や演奏法が定められたものがあります。舞曲や行進曲など身体の動きが伴う作品は、踊りの所作(振り付け)や行進のスピードに決まりがあり、それによって作品のキャラクターやテンポが決まります。

行進曲の演奏は、腕を振り、一定の歩幅とテンポで大地を蹴るイメージを持つことが大切です。そのためには筋肉質な音色と明確なアーティキュレーション、スタッカートはもちろんスラーの終わりも「脚を引きずらないように」短く切るといいでしょう。

行進曲はダ・カーポを伴う三部形式で書かれることが多い(この作品はダ・カーポしません)のですが、主部の「マーチのテーマ」と、中間部(トリオ)の「カンタービレなテーマ」を、アーティキュレーションの処理など、音量や音色に工夫を凝らしコントラストを明瞭に描き分けると、鮮やかで華やかな演奏になるでしょう。

冒頭4小節間の和声は「ドミナント(属和音)」、まだスタート前の「位置について、ヨーイ」の気持ちは、4小節目のトリルの終結音(ファ)が「ドン!」の合図に感じられるよう、音色・気持ちは緩めずつながりを持って演奏します。

[B]の「マーチのテーマ」は、最初の3音「シーラソ」はつながりを保ち、スタッカートが付いた音符は「ソッ、ソファソッ、シッ、ミッ」のように短く切り、弱くならないように演奏。スラーの終わりの音にスタッカートが付いている場合(21小節目の3拍目ソなど)、その音はタンギングせず、息によるアクセントを付けると良いでしょう。

24小節目1拍目のラは、前の小節からタイがかかっていますが、1拍目ジャストのタイミングではっきり切る(小節線手前で切らない)。すべての音符をマルカート(はっきり)で。

[C]の3拍目は sub.(突然) *mf* からクレッシェンドです。2分音符の連続(37-38小節)はマルカート、レガートどちらの表情でも演奏できますが、音のアタックをはっきりとすること。

クレッシェンドのような「エネルギーを加える」場面ではテンポより速く「走った」演奏になりがちなので注意。この箇所は4分音符や8分音符など「メトロノーム代わり」になるリズムを刻むパートが他にないので、メンバー全員のテンポ感が試されます。

65小節目のような高い音から低い音へレガートする場合、低い音(この作品では特に8分音符のミ)が弱くなりがちなので注意。67小節目のスケールも急がず、一音一音確認するように丁寧に吹きます。

[E]からの中間部(トリオ)で行進は一休み、下属調(*As-Dur*)に転調し、クラリネットとサクソフォンによって静かに始まります。

その後 [F] から加わるフルートの役割は、メロディーの輪郭を1オクターヴ上に拡大して、色と明るさを加えることです。急激な変化は避け、メロディーに溶け込む音色を心がけます。この「カンタービレなテーマ」は、4小節+4小節の二つの山が連なりますが、山と山の間(88小節目1拍目と2拍目の間)が凹みすぎたり、隙間が大きくならないように。プレスも素早く。91小節

目最後のレ(*des*)は終わりの表情では無く92小節目の最初までしっかりと伸ばすこと。

その次の3連符「ファソファ」から始まるパッセージは軽快なスタッカートで、3拍目のミが弱くならないように。カンタービレから抜け出して、キレッキレのスタッカートで!行進再開です。

[G]の「レードッ」、これもスラーの終結音の「ド」が消えないように。103小節目のトリルに続く小さい「レミ」は「後打音」、トリルの一部です。伝統的な奏法では、スラーが記載されていなくてもトリルから続けてスラーで演奏するものなので、レでタンギングすることにこだわらなくて(タンギングしない)いいと思います。それより大事なものは「トリルの途中がしばまない」「最後のファをはっきり吹く」ことです。

[H]からはピッコロのオブリガート・ソロです。カンタービレなテーマの上空を自由に飛ぶ小鳥のイメージでしょうか?アーティキュレーションをはっきりと、スタッカートは短く。背筋を伸ばして「客席からよく見えるように」する事も重要です。張り切ってスタッカートするとテンポが速くなりがちです。こども注意!

風がきらめくとき

近藤礼隆

2

解説:

相澤 政宏

Masahiro Aizawa

東京交響楽団 首席フルート奏者



皆さんは楽譜が渡されて曲にとりかかる時、どんな事から始めますか？すぐに音を出す人もいるかもしれませんが、僕は、まず最初に譜面を眺めて「曲の全体像を感じる」事が大切だと考えています。まずはこの曲の題名を感じてみましょう。

「風がきらめくとき」作曲家はこの曲を「風光る」という春の季語からインスピレーションを得て作曲したようです。作曲家の思いを汲み入れつつ、題名についてそれぞれがイメージを持ってみてください。

次は表情を表す用語です。この曲中には **Amabile, Brillante, Tranquillo** という3つの表情を表す用語があります。イタリア語ですが、音楽用語として載っていますので調べてみましょう。

曲の題名を感じつつそれぞれの場所の表情を自分自身で想像して演奏する事もとても大切な事です。

最後にテンポです。この曲には四分音符で ♩=80、84、72 という3種類のしかも近いテンポが表示されています。一方で作曲家はこの曲のテンポについて「各団体の息遣いに合わせて設定いただいて良いかと思います」と書いています。テンポは指揮者が決めるものですが、奏者は初期段階でテンポに対してイメージを持っておく必要があると思います。大切なのは、絶対的なテンポの数字と言うよりは、「終始ゆったり～中庸な一曲の中に3種類のテンポがあり、曲の雰囲気に合わせて少し前に行き落ち着いて終わる」というのを頭にに入れておく事だと思います。

さて、具体的に曲を見ていきましょう。一曲を通して速い動きが多くないだけに、楽器の響きや音色が大切になってきます。[A]の2小節前からの動きはフルート、ピッコロ、オーボエ、グロッケンユニゾンですね。音程と響きをよく合わせましょう。特に最後の音のディミニユエンドでの音程を気を付けましょう。このセクションは各楽器のバランスを色々変える事によって、色んな音色になるので、皆さんの素敵な響きを探してみてください。

[A]の6小節目から5小節目間のフレーズは木管ユニゾンになりますね。皆で音程や響きを合わせるのは勿論ですが、ここはスラーが2拍目から始まる事に注目してください。小節をまたいでまとまりがずれる形ですね。スラーの最初がいつも聴こえにくい低い音から始まることもあるので、5小節のフレーズを感じつつも、ハッキリ発音してグループを明確にする事が必要だと思います。

[B]の2小節目は特にホルンと響きのコンタクトを感じたいです。3拍目にテヌートとディミニユエンドがありますね！このテヌートへの想いが大切です。3拍目、ドミソの和音に素敵にレがぶつかってから4拍目のドに解決するのを感じましょう。レをしっかり感じてからディミニユエンドするためのテヌートと考えましょう。

[B]の6、7小節目は1拍目裏からスラーが始まる事をしっかり意識してください。ここも低い音からのスラーで、アーティキュレーションをクリアにする必要があると思います。又、ここで始めて **f** が出てくるという事も着眼点です。

[C]の1小節前のソの音は全体で音程をよく

合わせましょう。最後の音は合わないと特に気になります。

[C]の4小節目～8小節目までは#とㇿが沢山出てきますが、ここはファとドにだけ#がついた音階と考えればそんなに難しくはありません。9小節目は元に戻ると考えれば良いでしょう。最後の長い伸ばしは当然、音程に厳しく！弱くしていった時フルートとクラリネットの音程の傾向が逆になるので要注意です。

[C]の8小節目が **f** で9小節目が **ff** な事も着目したいです。

[E]からは気持ちが少し前向きになりますね。ピッコロ、フルート、Esクラリネットで音程を合わせ、皆さんの素敵なバランスを探ってみましょう。

[E]8小節目からのピッコロソロですが、スラーの中で2つの音が続くときは2つ目の音をタンギングします。[F]の6小節目のスラーの中の16分音符と3連符は意外と聴こえづらいです。指だけに気をとらわれず1音1音の響きがしっかり出ているか確認しながら吹きましょう。

[G]からは1音1音輝かしい響きで吹きましょう。お腹の支えを弾ませながら吹くと輝かしく音が飛んで行くと思います。ただ同時に注意したいのは、Esクラリネットとグロッケンと音程を合わせる事です。音域や音的に、フルート・ピッコロ対Esクラリネット・グロッケンという音程の構図になりやすいです。

[H]のトリルは良い音程で1stと2ndの美しい響きを出してください。

メルヘン

(2024年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

酒井 格

3



解説:

磯田 純子

Junko Isoda

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ フルート・ピッコロ奏者

今年の委嘱作品は、吹奏楽をやっている皆さんならよくご存知の作曲家『たなばた』等の作品でお馴染みの、酒井 格さんの登場です！さまざまなメロディのアイデアがギュッと詰まった作品になっているかな？と私は感じています。フレーズのキャラクターも皆さんの感じるままに、物語やイメージを膨らませて、ワクワクするような楽しい演奏を作り上げてみて下さいね！

フルートパートに限らず、この曲の色々なフレーズの中に見られるパターンなのですが、例えば 18・19 小節目に 2nd は 2 分音符があると思います。1 小節の中で各 3 拍目に音量の頂点が来るように演奏するわけですが、受け持っている音符の音価が違う場合、同じような音量効果を表現出来なかつたりしてしまう事があります。

Picc&1st は 4 分音符で動いている中で音の変化もある為、自然に音量増減しやすと思いますが、2nd みたいに 2 分音符になっていると、音を伸ばしている間に音量がいきなり増えすぎたり、逆に減衰して抜けてしまったり…などが起こったりしてしまいます。歌い方の方向性など相談してしっかり揃えておきましょう。

□の最初の小節は Picc&1st が 3 拍目の音の大切さをしっかり認識しておきましょう。スコアを見ればよく分かると思いますが、ここで音が変わる楽器が圧倒的に少ないのです。どう音を積み上げるのか、考えて演奏して下さい。スコアを全然見ない・確認しないという人も時々いるみたいですが、パート譜だけを見て演奏していてもだめですよ！もちろん自分の耳で、聴こえてくる音をキャッチすることが、演奏する上でとても大事なことなのですが、ここではこの楽器がこう演奏しているんだ…とか、

スコアで確認しておく、音楽が図面のように…パズルのピースが埋まるかのように、耳のアンテナを張り巡らせられるようになり、感覚的にも繋がって、他の楽器の音がより耳に入ってくるようになります！必ずスコアもチェックする習慣を付けましょう！！

□の 2 小節前の 1st は浮かび上がるように聴こえてくる歌い方で、しかも *rit.* がある中で、テンポ設計にも気を付けて下さい。□の直前の Picc は Fl の動きにピタッと添えるように、可愛らしく演奏して下さいね。自分自身も Fl と同じフレーズを吹いてきているつもりじゃないと、揃わないと思います。

□の 1 小節前の Picc はメロディなので弱くなりすぎないように、1st Cla & 2nd A.Sax と一緒に練習しておいたりしながら、リズム共有をしておきましょう。2 拍 3 連符のスラーのかかり方と、最後の音のテヌート加減を揃えておいて下さい。デクレッシェンドしながら、テンポが落ちたりしないように演奏しましょう。40・41 小節目の 2nd はシンコーションのリズムを意識して、コミカルさがメロディの中に含まれるような演奏にもなるよう心掛けてみて下さい。

曲の中盤辺り □から □に入るまでは、拍子とテンポ設定の変化、転調も目まぐるしいので、流れの良い自然な演奏を目指して下さい。□の前にある *Adagio* の 2 小節間は、木管楽器での柔らかく温かみのある響きから、次のワルツへと導いていくようなふわとした優しい音楽展開になるよう、ハーモニーや音程感を大切に。64 小節目の Picc は、踊りに加わって来るかのように自然に入って行きましょう。

□の Xylophone からのリズムカルなフレーズに対して、72 小節目の Fl は流れるようにスムーズに、そして 73 小節目の Picc&1st は音の粒はクリアで軽やかに！！ Xylophone ともしっかり揃えて下さいね。86 小節目の Picc は、□からの *Maestoso* が視野に入ってしまう、4 分音符の動きがゆったり遅めになりすぎないようにしておきましょう。

とにかく曲の表情もコロコロと変わるので、可愛らしさやコミカルな雰囲気も想像しながら、演奏して下さい。

□の 4 小節目からスラーで 5 小節目の音へ跳躍しますが、伸ばしている音の音量は *p* でキープしたままで、音を移ります。上がった音の音量が大きくなるように気を付けて下さい。

曲の 1 番最後の Picc&1st は、やはり譜面に書かれてある *8va* 高い方で吹くのをオススメします。その方が華やかでピシッと、曲のラストがカッコよく決まります！1st が複数人数いる場合、もちろん全員で高い方で吹いて良いのですが、上手くまだハイトーンが出せないという人がいたら、2 つの音域があってもいいかと思います。その場合、結果的に 2nd と同じ音域になるわけですが、パートで上手くいく方法でやってみて下さいね。

この曲にはトリルといった装飾音や特殊な難しい奏法は一切ありません。楽譜的には至ってシンプルなので、割と簡単に取り組める曲かな？と感じると思います。メロディが分かりやすい曲なので、表現力でしっかりアピール出来る演奏となりますように！！

フロンティア・スピリット

伊藤 宏武

4



解説:

井上 登紀

Takaki Inoue

大阪フィルハーモニー交響楽団 フルート奏者

世界的に有名なベートーヴェンが作曲した交響曲第3番エロイカという曲を皆さん知っていますか?実はエロイカもフロンティア・スピリットと同じ♭3つの変ホ長調で書かれています。それぞれの調性にはキャラクターがあると言われているのですがこの変ホ長調(♭3つ)は英雄の調!と言われているのです。エロイカの1楽章の冒頭の部分を聞いてみてください(本当にかっこいい出だしなのです。)このフロンティア・スピリットも今から冒険が始まるぞというワクワク感や、胸を張って堂々と歩いている感じ、自分自身が英雄になり物語を作っていく気持ちで音楽を作っていきましょう。

曲全体を見てみると♭3つ→♭4つ→♭2つ→♭3つに変化していますね。これらそれぞれの調の違いやイメージをしっかり持つためにもそれぞれの音階練習をしましょう。やったほうが良い音階練習は変ホ長調(*Es-dur*)、変イ長調(*As-dur*)、変ロ長調(*B-dur*)ですね。メトロノームを使ってゆっくりからだんだんテンポを上げて最終的に四分音符108や92を2拍子で鳴らして練習していきましょう。音階練習などの基礎練習は速さよりも丁寧に吹くことに気をつけて音出ししていきましょう。

曲を見ていきましょう。

フレーズは基本4小節か8小節で書かれています。自分の吹き始めるタイミングはフレーズのどこからなのか?全体を導くようにフレーズの始まりから演奏するのか?それとも

誰かのメロディーを途中から応援する形で参加しているのか?大事なことは音だけを見るのではなく全体をみたり、担当している場面の前の楽器は何の楽器か?吹き終わった時にどの楽器にバトンを渡すのか?これらに注目してパート譜やスコアを見て確認しましょう。

途中色んな場面で八分休符がありますが、お休みもちゃんと演奏することが大事です。ん?音を出さないのに?なぜ?フルート1番2番の楽譜だと練習番号[B]の36、37小節目を見比べてみてください。36小節目には付点四分音符になっているので休符がありませんが37小節目には四分音符のあとに八分休符がありますね?こんな感じで曲の中に出てくるニュアンスというのはちゃんと楽譜上である程度書き分けられているのです。それぞれの作曲者の曲に対するイメージをどんなふうに演奏したらいいかな?と自分勝手な想像をするのが大変でもあり一番楽しいところでもあるのです。

練習番号[B]では縦に感じていた音楽が少し横に歌い始めますね?音のつながりに気をつけて演奏しましょう。練習番号[C]になると再び縦に感じる音楽になるとともにクラリネットやサクソ、ホルンを聞きながら軽快な伴奏をしてあげましょう。堂々としたテーマに華やかな飾りをつけるように!

126小節目は前の小節間サクソやクラリネットが作ってきている流れにぴったりな *mp* を意識してしっかり *f* まで盛り上げましょう。強弱記号は感じ方ですごく変わりますよね?

たくさんのメンバーで演奏する *p* とソロのときの *p* が同じではないように、今どれくらいで表現したらいいのか?ということを常に意識して演奏してみてください。

今自分がメロディーラインだ!と思ったら全員に伝わるように演奏するし、この形は伴奏だな?と思ったらじゃあ何の楽器がメロディーを演奏しているのかな?と周りに耳を傾けてください。

個人練習でもそうですが聴くこと!自分の音は素敵なのか?感動できる音なのか?全体の流れ、全てはよく聴くことでうまくなっていきます。

この曲の色んな場面を演奏した時に、あぁいい曲だな!素敵なお音楽だ!めっちゃくちゃいい音だな!と感じられる音や演奏を目指して頑張ってください。

しっかりと練習(旅の準備)をして、さあ楽しい冒険に出発しましょう!

幸運を!

JULIETTE HUREL

ジュリエット・ユレル
FLUTE RECITAL 2024 フルーツリサイタル



ロッテルダム・フィルハーモニー首席フルート奏者ジュリエット・ユレル、待望のフルーツリサイタル。長年パートナーを組むピアニスト、エレヌ・クヴェールとの華麗な共演。

フルート：ジュリエット・ユレル
ピアノ：エレヌ・クヴェール

6月20日(木)東京公演 すみだトリフォニーホール 小ホール
6月21日(金)大阪公演 豊中市立文化芸術センター 小ホール

一般：前売り ¥3,500 当日 ¥4,000 チケット：ぴあ
学生：前売り ¥2,500 当日 ¥3,000 <http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2400690>



INFORMATION

第14回

パールフルート・サマーキャンプ 2024



In北志賀よませ

一流フルーティストを講師に招き、高校生から専門課程の上位者、一般のフルート愛好家までを対象とした宿泊形式の短期集中セミナーが戻ってきた！今年は、ヤノシュ・バーリント氏も講師として参加。フルートの上達を目指すなら、ぜひ参加してみませんか？

日程：7月26(金)～7月29日(月) / 3泊4日
場所：ホテル明幸(北志賀よませ)

講師陣：ヤノシュ・バーリント、相澤政宏、井上登紀、山田恵美子



COLLABORATION ITEMS



機能的なデザインに、撥水性が高いポリウレタンコーティングを施したスムーズな生地を採用。いつでも安心かつスタイリッシュにフルートを持ち運べます。



ワンショルダーバッグ
ANL-FLOS1
¥7,480



トートバッグ
ANL-FLT2
¥9,790

Legato Largo®
Pearl Flute

品格のある素材とデザインで、「毎日持ち運びたくなる」をかなえるフルートケースカバー。しっかりとした作りでフルートを守ります。



フルートケースカバー

LL-FLCC1 C足部管用 ¥8,800
LL-FLCH1 H足部管用 ¥9,350



フルーティストのためのスペース パールフルートギャラリー

パールフルートギャラリーではフルートに関するご相談、レッスン受講、リペア、コンサート等のご案内を承っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

Pearl Flute Gallery TOKYO (パールフルートギャラリー東京)

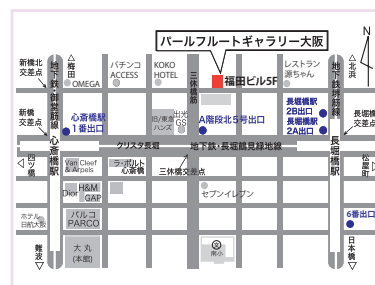
〒110-0008 東京都台東区池之端 1-1-1 MK 池の端ビル 3F
TEL.03-3836-1610 FAX.03-3836-1673
●営業時間 10:30AM～6:30PM (月曜、日祭日定休)



東京メトロ千代田線・湯島駅
1番出口より徒歩1分
JR、東京メトロ・上野駅
中央改札/不忍改札より徒歩7分
京成電鉄・京成上野駅 徒歩5分
東京メトロ銀座線・上野広小路駅 徒歩5分
都営大江戸線・上野御徒町駅 徒歩5分
JR・御徒町駅 北口より徒歩7分

Pearl Flute Gallery OSAKA (パールフルートギャラリー大阪)

〒542-0081 大阪府中央区南船場 2-11-13 福田ビル 5F
TEL.06-6282-0660 FAX.06-6282-0680
●営業時間 10:30AM～6:30PM (月曜、日祭日定休)



大阪メトロ御堂筋線・心斎橋駅
2番出口よりクリスタ長堀経由 A階段北5号出口徒歩1分
大阪メトロ御堂筋線・心斎橋駅
1番出口より徒歩5分
大阪メトロ長堀鶴見緑地線・長堀橋駅
2A出口より徒歩5分
大阪メトロ堺筋線・長堀橋駅
2B出口より徒歩5分

パールフルート インフォメーション

パールフルートカタログ

パールフルート取り扱い楽器店にて配布中



パールフルート
オフィシャルウェブサイト

<https://pearl-music.co.jp/flute/>



SNS

Instagram
@pearlflute_japan



YouTube
@PearlFluteJapan



X
@pearl_flute_jp



お取扱店